

令和3年度 学校経営計画

四條畷市立四條畷小学校
校長 羽 森 清 司

1 学校経営方針

令和2年度から小学校において本格実施された「新学習指導要領」は、コロナ禍での学校休業などで授業時数が制限されたこともあり、教職員・児童に十分浸透したとは言えなかった。今年度は、そのことを踏まえ、私たち教職員は、もう一度新学習指導要領の趣旨を確実に捉え、児童に指導を行っていかなければならない。子どもたちがこれから生きていく時代は、世の中の大きな変革期と重なり、国際的な競争が一層激化することが予想される。この変化の激しいこれからの社会を生きていくためには、あらゆる人々と共に学び、互いの意見を尊重し、直面する課題に対して、柔軟かつ真摯に対応していく力が求められる。その力の基盤を育成する学校教育において、今年度も知・徳・体と言われる「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」をバランスよく育て、児童に「生きる力」を育成していかなければならない。

令和3年度は、第3期四條畷市児童・生徒学力向上3ヶ年計画に引き続く新たな取り組みを実践していく。本校では、これまで大阪府教育庁の学力向上の研究指定を土台として、国語科を中心とした学力向上のための研究を推進し、一定の成果を上げてきた。今年度は、この成果をさらに向上させるとともに、理科を中心教科として児童の学力向上に取り組んでいきたい。併せて今年度は、令和2年4月1日に行われた四條畷東小学校と本校の学校統合後2年目に当たることから、昨年コロナ禍で十分できなかった「新しい学校」づくりを推進し、様々な角度から十分な配慮を行い、両校の児童・教職員・保護者のよりスムーズな接続を実現していきたい。「畷中」と「南中」との統合においては、児童・保護者のスムーズな接続に2年を要したと言われている。そのため2年目を迎える本校においても、特に不安をかかえる児童がいかなかなど、全教職員で状況を注視し、取り組みを進めていきたい。本年度も本校の教育目標を達成するために、新たな教職員の力を得て、全教職員が個々の経験と持てる力を一つに結集して学校運営に取り組んでいく所存である。

2 めざす学校像、子ども像、教師像（中期目標）

★めざす学校像	子どもたち一人ひとりがより輝く「新しい学校」（学校統合2年目）
★めざす子ども像	よく考えてやりぬく子 力を合わせてがんばる子 丈夫な体と豊かな心を持つ子
★めざす教師像	発想と実行力を兼ね備え、より指導力を発揮できる教師

【学校教育目標】

「よく考えてやりぬく子 力を合わせてがんばる子 丈夫な体と豊かな心を持つ子」

(様式1)

3 学校の現状（よさと課題）

(1) 子どもたちの実態

暁小は、今年度で創立135年目を迎える。昨年、東小と本校との統合が行われ、今年度は、その2年目に当たる。昨年、「東小」の子どもたちは、一年間で新しい暁小に慣れ、新しい友達も増えたと聞いている。また、統合に不安を抱えていた暁小の児童も、現在では、互いに友達とも交流し、双方の児童は、共に、明るく健やかに育ってきている。

(2) 子どもたちを取り巻く環境

①教育環境・・・それぞれの地区の家庭において、明るく健やかに育つ環境がある。

②地域・・・両校区とも、昔からの伝統のある地区を要し、学校に協力的である。

③組織（教職員、PTA、保護者）

・教職員は児童の指導に熱意があり、課題のある児童にも丁寧に接している。

・PTAも歴史と伝統を引き継ぎ、代々学校と連携してPTA活動を行ってきており、今も暁小にはPTAとは別に後援会が存在している。

・保護者は、学校に協力的な方が多い。また、子どもたちをいつまでも温かく見守り、楽しい行事等を考えてくださる「おやじの会」という組織が保護者やOBで構成されている。

4 今年度の達成目標、具体的な方策

目標設定区分1 『学校経営』

A 今年度の成果目標

達成基準（各種調査、アンケート等）

児童の学力の向上及びこれからの変化の激しい時代を生きぬく資質、能力の育成

児童アンケート・学校アンケート・PTA 実行委員会・学級懇談会・学校運営協議会等の意見

B 目標実現に向けた取組み

項目	達成基準	具体的な方策
・学習指導要領の確実な実施	肯定的評価70%以上	・教育課程の編成と授業時数の確保・授業内容の充実 ・子ども主体の授業づくり 指導と評価の一体化
・学力向上の取組みの充実と深化	肯定的評価70%以上	・国語力の継続した育成と新たな理科教育への取組み。 ・学力・学習状況調査等の結果の分析と活用 ・指導方法の工夫・改善 ・GIGA端末を活用した「主体的、対話的で、深い学び」の実践
・障がいのある子どもへの自立支援	肯定的評価70%以上	・「ともに学び、ともに育つ」教育の推進 ・一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援の充実 ・合理的配慮についての適切な対応
・豊かな心の育成	肯定的評価70%以上	・人権尊重の教育の推進 ・道徳性を育むための心の教育の充実 ・いじめ・暴力行為等の問題行動や不登校の取組みの推進 ・郷土教育と読書活動の推進
・体力向上と健康安全教育の推進	肯定的評価70%以上	・体力向上の取組みの推進 ・健康安全教育・食育の推進

目標設定区分2 『学校組織の運営』		
A 今年度の成果目標		達成基準（各種調査、アンケート等）
学校の組織力の向上と安心安全の確保		児童アンケート・学校アンケート・PTA 実行委員会・学級懇談会・学校運営協議会等の意見
B 目標実現に向けた取組み		
項目	達成基準	具体的な方策
・学校組織の充実・発展	肯定的評価70%以上	・学校評価を活用した学校組織の充実・発展
・自然災害等に備えた体制の充実・防災教育の取組み・コロナ対策	肯定的評価70%以上	・災害に備えた危機管理体制の確立 ・学校安全計画・防災教育計画の策定 ・感染症対策や児童虐待への対応

目標設定区分3 『人の管理・育成』		
A 今年度の成果目標		達成基準（各種調査、アンケート等）
教職員の資質向上と研修の充実		児童アンケート・学校アンケート・PTA 実行委員会・学級懇談会・学校運営協議会等の意見
B 目標実現に向けた取組み		
項目	達成基準	具体的な方策
・教職員の組織的・継続的な人材育成	肯定的評価70%以上	・教職員が互いに高め合う職場環境づくり ・研修の計画的な実施と研修成果の還元
・不祥事の防止	肯定的評価70%以上	・教職員の服務規律確保と研修等による未然防止の取組み

目標設定区分4 『地域連携と渉外』		
A 今年度の成果目標		達成基準（各種調査、アンケート等）
コミュニティスクールのモデル校として、中学校区での小中一貫地域学校協働活動推進のための土台づくり		児童アンケート・学校アンケート・PTA 実行委員会・学級懇談会・学校運営協議会等の意見
B 目標実現に向けた取組み		
項目	達成基準	具体的な方策
・学校教育目標、育てたい子ども像の共有	肯定的評価70%以上	・校種間の円滑な接続と共有 ・小・中学校での取組の推進
・教育コミュニティづくりの推進	肯定的評価70%以上	・学校運営協議会委員の選定（4～5名） ・教育コミュニティづくりへの主体的な参画 ・課題の整理と次年度の目標の共有化
・家庭教育支援の充実	肯定的評価70%以上	・家庭教育支援の体制づくり